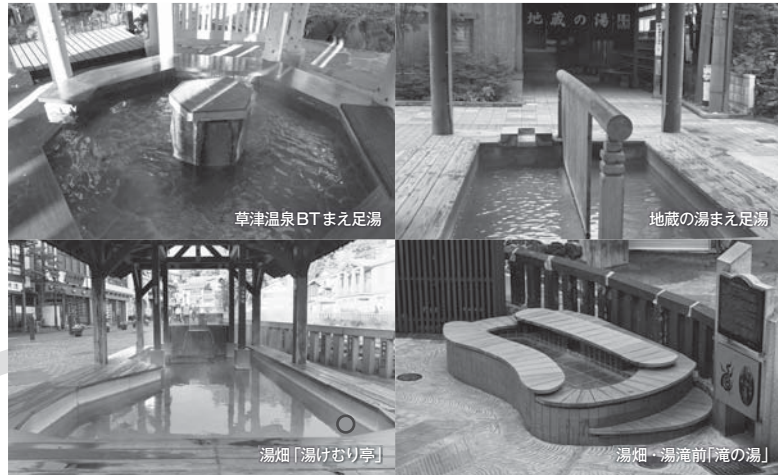


草津温泉通信 vol. 7



草津には昔から人々の体や心を恵みの湯で癒してきた湯治の文化や歴史があります。草津を訪れた偉人や文化人はこぞって作品や書物にその名とその素晴らしさを刻みました。今回は、草津温泉を巡るなかで気軽に立ち寄れる4箇所の足湯と、江戸時代を代表する俳諧師のひとり、小林一茶を紹介します。



4つの無料足湯

天下の名湯・草津温泉を
着替えいらずで気軽に楽しむ!!

「草津温泉BTまえ足湯」は、草津温泉バスターミナル前にあり、木造の外観と石の浴槽。バスやホテルチェックインの待ち時間に使えることから人気の足湯です。「地蔵の湯まえ足湯」は、共同浴場「地蔵の湯」前にあり、目の前の広場には地蔵源泉の小さな湯畑やお地蔵様、横には足つぽに効く石畳の遊歩道があります。「湯けむり亭」は湯畑の脇に立つ総檜造りの東屋で、湯畑から引いた源泉をそのまま楽しむことができます。「滝の湯」は、2017年4月に完成したもっとも新しい足湯。湯畑の近くにあり、湯滝を眺めながらのんびり浸ることができます。

草津ゆかりの人物

File.
07

小林一茶

満月の形を象った句碑は、光泉寺への階段途中にある湯善堂横で見ることができます。



江戸時代の俳人として名高い小林一茶は、当時草津で旅籠を営んでいた俳人、黒岩鷺白と親交が深く、その縁あって数度来草しています。一茶は草津への旅を『草津道の記』に著しており、その中で草津を詠んだ歌「湯けむりにふすばりもせぬ月の貌」の句碑が建てられています。

オススメ!

草津 春のイベント情報

- ◆ 湯畑湯路パル 3/7
- ◆ キャンドルイベント「夢の灯り」 3/10・17・24
- ◆ ふるまい 3/10・17・24
- ◆ スノーシューで行く「冬の森ウォッチング」 3月末まで

草津立ち寄りスポット紹介

伊参スタジオ公園

木造校舎ならではの懐かしさを感じられる空間

廃校になった中学校を改装して作られた伊参スタジオでは、これまでに数々の映画やプロモーションビデオなどが制作されました。また、県内各所に点在していたロケーションセットを移築、再展示し、伊参スタジオ公園として一般公開しています。校舎入口には「入場料は笑顔です」と



の看板があり、訪れた人の心を癒してくれます。

【住所】
〒377-0432
群馬県吾妻郡中之条町五反田
3527-5

【アクセス】
アルペンローゼから車 約70分
渋川伊香保I.C.から車 約50分

※3月末までは土・日・祝のみ開園

埼玉県市町村職員共済組合草津保養所



お申し込み・お問い合わせ

【草津保養所アルペンローゼ】 埼玉県市町村職員共済組合 施設課
〒377-1711 〒330-0064

群馬県吾妻郡草津町草津 512-2 埼玉県さいたま市浦和区岸町 7-5-14
さいたま共済会館内

(0279)88-1300(代) (048)822-3304

ホームページアドレス www.saitama-ctv-kyosai.net